



こまつ かいぞう  
**小松 快造** 議員  
(富岳会)

## これからの農業について考える

**問** 日本の農業（農家）にはたくさん問題があると思う。離農や高齢化による担い手不足、3K（きつい、危険、汚い）の代表的な職業イメージが強い農業について伺う。①大規模生産・少量多品種生産、富士宮市における生産方法はどちらが適していると思うのか伺う。②「稼げない」ことに若者たちの離農、後継者不足など、農業の不安材料があります、稼げる農業にするためには何が必要と考えるのか。③新たな販売・販路（流通）を見出すことは出来ないか伺う。④生産緑地制度について伺う。

**部長** ①富士宮市では大規模生産と少量多品種生産のどちらが適しているかについては、一概に良いというよりも、各農業者の経営方針によ

りどちらも適している。②今後新規就農者を増やすために、農業に対する悪いイメージを払拭し、農業者の所得を増やす施策が重要と考えている。スマート農業の導入については補助事業を若い担い手を中心に活用を期待する。農地の集積・集約を推進し、経営や技術、資金、農地の課題に対し関係機関とともに支援し農業者の所得向上に努める。③令和4年4月には、東部8農協の合併が予定されており、農産物の集約化による販路の拡大が予想される。市としても販路の拡大とともに、富士宮ブランドの確立とPRに努める。④市街化区域にある農地は、市街化調整区域内農地に比べ、固定資産税の税額は50～100倍程度高くなっている。平成3年大都市地域を中心に市街化区域内農地の積極活用を目的として生産緑地法が改正された。課税の問題、地域性も含め大きな課題だと感じている。



ふかさわ りゅうすけ  
**深澤 竜介** 議員  
(令和)

## 新型コロナワクチンの接種について

**問** ワクチン接種の具体的なスケジュールはどうなっているのか。

**部長** 4月26日以降に高齢者施設の入所者を対象に接種をスタートし、5月10日以降に65歳以上に接種できればと考えている。接種券を配布する時期は、ワクチン確保の目途がついてからと考えている。

**問** 1日当たりの摂取人数は何人ぐらいと考えているのか。

**部長** ワクチンの供給状況もあるが、400人程度と考えている。

## 歯と口の健康づくりについて

**問** 市民の健康づくりのためには、口腔機能の向上が重要だと思っていたところに、今回、歯科口腔保健計画が強調されたことは素晴らしい。

い。その意図は何か。

**部長** 富士宮市は、子供の虫歯は減ってきているが、大人の歯周病は増加傾向にあり、オーラルフレイル（飲み込みの悪さや口の中が弱った状態のこと）の認知度も低く、歯科口腔保健が重要だと考えた。

**問** かかりつけ歯科医を持つようにする考えはないか。

**部長** 歯についても定期的な検診を行う必要があり、そのためにはかかりつけ歯科医が必要であるということを周知していきたい。

## 大河ドラマへの対応について

**問** 「鎌倉殿の13人」「どうする家康」と2年連続富士宮市とゆかりのある人物が大河ドラマで取り上げられるが、それらへの対応はどうなっているのか。

**部長** 静岡県が中心に、東部伊豆の20市町と観光関係団体・商工団体で連絡協議会が設立された。富士宮市としては市役所内の関係6課で作業部会を立ち上げた。